



ZOOM IN FUKUCHI

↑父、兄と共に日々練習に励む山本雅也さん(右)。両腕日本一の証、2つのメダルが胸元でキラリと輝いていました。



アームレスリング全国大会で優勝 両腕鍛え抜き高校チャンピオンに

10月19日に茨城県で行われた「第13回全国高等学校アームレスリング選手権大会」に山本雅也さん(金田)が初出場し、男子個人の部80歳以下級で右腕・左腕ともに優勝する快挙を成し遂げました。父親の影響で中学生の頃からアームレスリングを始めた山本さんは、全国レベルの大人たちも所属するチーム「筑豊流」での練習でめきめきと上達。全国の強豪をねじ伏せる偉業を達成したチャンピオンは、「高校卒業後は、一般の部でも全国に通用する選手になりたい」と、両腕に力を含め、夢に向かって士気を高めていました。

第19回 あがの焼秋の窯開き 上野焼の魅力を感じた3日間

10月24日から3日間に渡り「あがの焼秋の窯開き」が上野焼陶芸会館と上野焼協同組合12窯元で開かれました。期間中は上野焼の秋の新作や、お買い得の掘り出し物を求めて約3千人の陶芸ファンが来場。会場には八女茶玉露や旬の特産品を味わえるコーナーもあり、来場者は400年以上の伝統を誇る上野焼の魅力を感じながら、旬の味覚も満喫していました。



↑お気に入りの逸品を求め、上野焼の器の一つひとつ手に取り品定めする来場者。

↓町長を表敬訪問し、九州大会への意気込みを報告した福智炎蓮太鼓のメンバー。



福智炎蓮太鼓九州大会へ出場決定 努力実り初快挙 全国目指し士気を鼓舞

和太鼓集団「福智炎蓮太鼓」が、9月7日に飯塚市で行われた「日本太鼓ジュニアコンクール福岡県大会」で入賞し、12月21日に鹿児島市で行われる九州大会への切符を獲得しました。メンバーは「最高のパフォーマンスを見せませう」と町長へ意気込みを語り、全国大会の出場権をかけた大舞台に向けて猛練習に励んでいます。 **部員募集中!** 問▶ 児童センター ☎22-7403

福智の風

▶めまぐるしく変化する社会の中で、私たちは自然と新しいモノやコトに目を奪われがち。過去があって今があるという、当たり前のことも見失っているのかもしれない。今月号のテーマは「ふるさと」。「方城すいとん」が持つ、郷土の温かさを紙面に込めました。15日は大非常から百年。この機会にふるさとを見つめ直してみませんか。(相原)

▶文化祭のリズムダンスを取材しました。元々ダンスを見るのが好きで、数年前から楽しく拝見させてもらっています。今回は広報担当としてステージ脇にも堂々と立ち入り、スポットライトを浴びて輝く素敵なお子さんたちを間近で撮影することができました。これが仕事ではなくプライベートならなあ…と思う今日この頃です。(荒牧)



笑顔輝く給食タイム
提供者●植田 辰生さん
撮影日●昭和55年頃

今となっては懐かしい三角すいの牛乳パック。容器や献立などは時代と共に移り変わりましたが、給食が子どもたちにとって楽しい時間なのは、昔も今も変わらないようです。

昔の写真を探しています!
問 総務課広報・広聴係
☎22-0555

はな・高齢者大学句会
池田一步選
燈火親し追伸添へて書く便り
柿うまし会話はすんで園暮し
手に取って種の輝き椿の実
菩提寺の銀杏黄葉の散る景色
仁王像顔ほころんで照紅葉
空に恋風に恋して秋ざくら
静物画籠に盛られし豊の秋
冬に入る河川工事の忙しげに
新葉をすぐる手捌き豊饒と
サスペンス終り不気味な夜長かな

福智町金田公民館俳句教室
岩井鬼童選
豊の秋田の神んさあへ茶碗酒
天窓に銀河灯して賢治読む
豊の秋大和国原祝賀いろ
鈴生りの洪柿が守る空家かな
点滴の針外されて爽やかに
朝寒のふと目が覚めし夢半ば
青空を眩しと仰ぐ紅葉
夫逝きて気乗り失せたる冬支度
貼り替へて遠き日憶ふ白障子
秋風や湖面は永久に波たたみ

方城句会
池田一步選
絹雲の静かな流れ冬に入る
零余子飯炒め菜の膳の茶屋
ユトリ口の秋を楽しむ一日かな
特攻の悲話しみじみと時雨けり
吊し柿風にや、揺れをりしかな
柿落葉掃かざるさまも又景色
源じいの森の川瀬の黄鶴鶴
露寒や孫の旅立ちとは寂し
小春日や城下名残の眼鏡橋

四季の歌

心映の投句 俳句・短歌教室の詠歌紹介

ともしび短歌会短歌詠章
天気の台風に見えし我が人生進路は「介護」に大きく曲がり
台風過ぎし畑の乱れたる茄子は西へと傾きにけり
鳳仙花赤白咲きて庭照らし来る人ごととに花の囁き
桜葉は赤く染まりて秋風にはらはらと散り転がりゆきぬ
秋祭り終りて静もる宮前に山笠の轆白く残り
産土の杉の木立の霧うごき誰が詣でしや鈴の音のする
ベトナムの街角に這って物を乞ふ枯葉孤児の無邪気な笑顔
月光をさえぎり動く影見あげ地球に生れし生命を思ふ

村上 美幸
八代 範夫
福田キヨ子
越智 早苗
桑野 昭子
三村 和子
高村 三也
福田 昌